

『思いは同じ』

「コロナ禍の自粛生活中、朝の連続テレビ小説を久々にビデオに撮り貯めて観ていました。気象予報士と地域医療のドクターが登場する「おかえりモネ」ですね。「地域の人々の命や生活を守るための情報を発信する点で、両者には共通する部分がたくさんあります」とドクター役の菅波先生がモネに語るのを観て、「なるほど〜!」とつい食いついて観てしまった訳です。



たしかに医学もそのときどきのデータを基に近い将来起こるであろう事象を予想する作業を日々行います。予後予測や予防とよばれる領域の仕事で、疾病を治す技術や知見に負けず劣らず、この領域

にも医学には多くの知見が集積されています。

気象警報の報道では、「自分は大丈夫と思わず、少しでも身の安全を確保できる行動を取って下さい」などと繰り返し伝えていきます。我々も「何も症状がないからと安心せず、血圧、コレステロール値、尿酸値、血糖値を下げていきますしよう。なるべく早く禁煙にトライしましょう」とお伝えするのは、難を避ける行動の呼びかけに他なりません。ただ個人に向けられるアラートですので、聞かされる側にとっては耳の痛い話となり、あまり歓迎されないのが気象とは異なるかもしれません。

天塩町を支えている皆さんは貴重な存在です。一人一人が元気でいて下さらないと、町は衰退していつてしまいます。生活習慣病は長い年月を経て、後戻りできない病状に陥ります。症状として体で感じるようになるのは随分病気が進行してからになることに注意が必要です。がん検診も然りです。早期発見できれば、町の働き手を失うことにはならずに済みます。

爽やかな気象予報士さんが伝え

る気象・防災アラートと比較されると足元にも及びませんが、病院でお伝えする健康アラートも、地域とそこに住まう人々を守るという目指す本質部分は全く同じです。「おかえりモネ」の受け売りになつてしまいました。が、内地から赴任して6年。この地を選んだ以上、天塩の町・皆さんには元気でいてもらいたい、いつもそう思っております。

(文責 医師 橋本)

2点お知らせです。

1. 循環器内科外来のご案内

今年、名寄市立総合病院ドクターの厚意により循環器内科の出張外来が始まりました。不整脈、心肥大、弁膜症など心臓に不安をお持ちの方はご活用ください。予約制となっております。詳しくは病院外来までご相談を。



2. 積雪期リハビリ入院のご案内

冬場どうしても動く機会が減り、足腰が弱くなってしまいがちの方にリハビリ入院という選択肢があります。隣接町ではできませんが、リハビリ機能を持つ当院のメリットの一つです。保険診療上、いくつかの制約があるため、ご希望される方は一度外来を受診下さい。

